

記事の書き方

文 編集部 ほげ

1 まずはじめに

1.1 pL^AT_EXを使う

1.1.1 macOS・Linux

article_name は適当な名前として、以下のようなコマンドでブランチを分けましょう。

```
1 git submodule update --init
2 git checkout -b personal/username/article_name
3 cd ./articles
4 cp -r ./hinagata ./my-article-name
5 cd ./my-article-name
6 make
```

1.1.2 Windows

WORD クラスファイルは Windows でもコンパイルすることができます。次のようにコマンドを実行します。

```
1 git submodule update --init
2 git checkout -b personal/username/article_name
3 cd ./articles
4 cp -r ./hinagata ./my-article-name
5 cd ./my-article-name
6 make
```

1.2 LuaL^AT_EXを使う

WORD では新たに LuaL^AT_EX が使えるようになりました。次のようにすることで利用できます。

1. makeの前に `Makefile` をエディターで開く

2. LATEXMKFLAGの部分を次のように書き換える

```
1 - LATEXMKFLAG += -halt-on-error
2 + LATEXMKFLAG += -halt-on-error -lualatex
```

3. makeを実行する

これ以降は **make** のみで **Lua^ATeX** 利用されますし、この状態で **Git** に **push** すると **Jenkins** 上でも **Lua^ATeX** が利用されます。

2 記事を書く

記事を書いたら、**make** コマンドでビルドできます。

```
1 git add *
2 make
```

これで **main.pdf** が生成されれば成功です。あとは **main.tex** を編集すれば記事が出来ます。

3 Git サーバに push する

記事のキリの良いところで **git push** するといいいのですが、最初の **push** の時には、**origin**^{*1} に新しいブランチを登録する必要があります。それは以下のようにしましょう。

```
1 git push origin personal/username/article_name
```

push を成功させた場合には、ビルドの結果が **slack**^{*2} の **#jenkins** チャンネルに流れます。slack を見ていない場合は、<https://jenkins.word-ac.net/job/LaTeX/> および <https://gitiles.word-ac.net/> を見ると良いでしょう。

4 ヒラギノフォントを埋め込む

macOS を利用しているなど、手元のコンパイル環境でヒラギノフォントが利用可能な場合は、次の手順でヒラギノフォントを埋め込んだ PDF ファイルを作成できます。

4.1 p^ATeX の場合

```
1 sudo cjk-gs-integrate --link-texmf --force
2 sudo mktexlsr
```

*1 ここでは WORD の Git サーバである gitolite.word-ac.net のことです

*2 <https://word-ac.slack.com>

```
3 | sudo kanji-config-updmap-sys hiragino-elcapitan-pron
```

この状態で `make` することでヒラギノフォント埋め込み PDF が作成されます。

4.2 Lua^AT_EX の場合

macOS・Linux `make` のかわりに `WORD_FONT=hiragino-pron make` を実行する

Windows `make` の前に `set WORD_FONT=hiragino-pron` を実行する

5 トラブルシューティング

5.1 偶数頁

編集作業をしていると、レイアウトの問題で偶数頁から開始していただくことがあります。

`\documentclass` のオプションに `[evenstart]` をつけることで簡単にできます。

```
1 | \documentclass[evenstart]{word}
```

5.2 「文 編集部」の削除

編集部以外のメンバーが執筆する場合「文 編集部」は必要ありません。「文 編集部」は以下のコマンドを `\documentclass` から `\begin{document}` の間のどこかに書くことで消せます。

```
1 | \authormark{}
```

6 鍵の登録

Git サーバに鍵を登録しないと、`push` できません。もしそれが原因でつまっている場合には、誰か権限を持っているような人に頼んで登録してもらいましょう。2016 年 6 月現在では、`pi8027`, `yyu`, `ioriveur`, `shinkbr`, `osyoyu`, `chris`, `nymphium` が部員を登録できます。鍵が変わった場合も声をかけましょう。

7 他の問題について

問題があれば `slack` の `#latex` チャンネルや、編集会議で聞くと良いでしょう。

直接詳しい人に SNS で聞く場合、`@_yyu_*`³ へ投げると早い。Lua^AT_EX に関しては `@Nymphium*`⁴ か `@azuma962`⁵ へ。クラスファイルの全体的な質問は `@hid_alma1026`⁶ へ。

³ https://twitter.com/_yyu_

⁴ <https://twitter.com/Nymphium>

⁵ <https://twitter.com/azuma962>

⁶ https://twitter.com/hid_alma1026